

臍処置，眼処置に関するアンケート調査報告

赤松 洋¹⁾
南部 春生²⁾
鳥居 昭三³⁾
外西 寿彦，関 修一郎⁴⁾
山内 逸郎⁵⁾

健康新生児のスキンケアに関するアンケート調査のうち、臍のケアおよび眼処置ことに膿漏眼予防のための点眼法についての集計結果を報告する。

方 法

南部らの報告と同様の方法で、各研究者が全国をA（九州・沖縄）・B（中四国）・C（関西・北陸）・D（関東・中部）およびE（北海道・東北）の5つに分類担当し、集計して検討した。

成 績

臍帯結さつ時期については、出生直後に行う施設が約40%でもっとも多かったが、臍帯拍動停止後は16.5%のみで、約70%の施設が早期結紮であった。結さつ法は実にさまざまな方法が行われていることが判ったが、結紮（絹糸・木綿糸その他）するか、プラスチック製クリップをかけるかのいずれかに分けると、後者が76.9%の施設で行われており、圧倒的であった（表8）。

臍帯断端の消毒に使用されている消毒薬はアルコールがもっとも多く、トリプルダイは2施設（0.5%）で使用されていたが、イソジン、ヒビテンを加えた3者が80%以上の施設で使われていた。また、同一施設で二種類の薬剤および施設別に多種類の薬剤が使用されている（表9）。

臍を乾燥させるために行っている方法について

は、開放は23.4%のみの施設で、2つ以上の方法を組合せて行う施設、ことに乾燥剤を使用し、ガーゼで被う施設が多く、その双方、いずれかを加えると約70%となるが、デルマトールの使用は少なかった（表10）。

眼処置については、膿漏眼予防のための点眼を行っていますかの問に対して、大多数はyesと回答されていたが、クレーデ法は9施設（2.4%）のみで行われていた。抗生剤の点眼および眼軟膏は実に多種類のものが用いられ、二剤を併用する施設が若干みられた。点眼の時期はクレーデ法の際の間であったが多数の施設から回答が得られ、出生直後が72.7%でもっとも多く、1時間後は7.8%のみで、“点眼せず”が1施設あるのに対して2回以上点眼する施設が若干あった。

なお、全体として著明な地域差はないものと思われた。

考察とまとめ

今回の調査は実態把握の一助にすぎないが、これらの結果を踏まえ、最適なケアのために研究を進める必要がある。

臍のケアに関して最適なものが何であるかは未だ不明で、スキンケアに関するAAPのrecommendationにも、colonizationを防ぐ唯一のcord careはないと記載されているが、結さつの時期については、体血液量の呼吸循環系あるいはビリルビン産生への影響を考慮し、結さつ・消毒、乾燥法は臍脱に至るまでのcolonizationの証拠およびそれが全身に及ぼす影響から結論されるべきであるが、分娩時（産道、外陰部の消毒？）の消毒に

- 1) 日赤医療センター新生児未熟児科
- 2) 天使病院小児科
- 3) 北野病院小児科
- 4) 鹿児島市立病院周産期センター
- 5) 国立岡山病院院長

ヨード剤を使用する施設では一過性の高TSH血症の発生率が高いことが報告されているので、臍への使用の安全性を確かめる必要がある。

眼処置に関しては、予防の目的が膿漏眼か、clamydia trachomatis 眼炎か、あるいはその他の新生児眼炎であるかによって方法が異なるものと思われるが、クレーデ法の是非および点眼のための抗生剤の選択については、公的に日母の見解はあるが、今後AAPのrecommendationのごときものがあるべきで、maternal attachmentを考慮した点眼の時期についても検討されるべきである。

文 献

- 1) American Academy of Pediatrics: Committee on Fetus and Newborn. Skin Care of Newborn. *Pediatr.* 54, 682, 1974.
- 2) Brook, I: Bacteriology of neonatal omphalitis. *J. Infect.*, 5: 127, 1982.
- 3) Cushing, A.H.: Omphalitis: a review *Pediatr. Infect. Dis.*, 4: 282, 1985.
- 4) Gruters, A., et al: Incidence of iodine contamination in neonatal transient hyperthyrotropinemia. *Eur. J. Pediatr.*, 140:299, 1983.
- 5) クレーデ点眼。日母医報。昭37. 3. 1. 発行
- 6) Dillon, H.G.,: Prevention of gonococcal ophthalmia neonatorum. *N Eng. J. Med.*, 27:1414, 1986.
- 7) Butterfield, P. M. Does the early application of silver nitrate impair maternal attachment? *Pediatr.*, 67:737, 1981.

アンケート調査集計 (施設数)

8. 臍帯結さつ時期と結さつ法

結さつ時期	A (58)	B (38)	C (78)	D (131)	E (68)	計 (373)	%
出生直後	24	15	32	50	26	147	39.2
出生後1分	1	3	6	16	9	35	9.3
第一啼泣後	8	8	20	29	12	77	20.5
拍動停止後	13	7	11	20	11	62	16.5
特に考慮なし	9	4	8	11	9	41	10.9
その他	3	1	1	5	3	13	3.5
結さつ法	A (58)	B (38)	C (78)	D (130)	E (68)	計 (372)	%
ブラ・クリップ	40	21	68	105	53	287	76.9
その他	18	17	10	25	16	86	23.1

9. 脐帯断端の消毒法

使用する消毒薬	A (58)	B (38)	C (80)	D (131)	E (68)	計 (375)	%
アルコール	23	27	35	52	32	169*	41.0
ノベクタンスプレー	2	2	9	6	2	21*	5.1
ヒビテン	6	3	14	19	7	49*	11.9
イソジン	21	7	29	32	24	113*	27.4
トリプルダイ	0	0	0	2	0	2	0.5
何もしない	0	1	1	0	2	4	0.1
その他	6	3	6	32	7	54*	13.1

* 併用例も含む

10. 脐帯の乾燥法

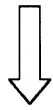
乾燥法	A (58)	B (38)	C (80)	D (131)	E (68)	計 (375)	%
開放	14	14	24	33	16	101	23.4
デルマトール	7	3	9	10	2	31*	7.2
乾燥剤	30	11	35	40	23	139*	32.3
乾燥・ガーゼ	24	0	14	51	23	112	26.0
ガーゼ	2	13	8	12	4	39*	9.0
その他	0	2	4	1	2	9	2.1

* 併用例も含む

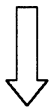
11. 眼処置について

眼処置法	A (58)	B (38)	C (80)	D (128)	E (67)	計(371)	%
クレーデ法	1	1	2	5	0	9	2.4
抗生剤の使用							
眼軟膏	3	6	18	17	7	51*	13.7
点眼薬	51	31	52	93	59	286*	77.1
いずれか不明	3	0	9	13	1**	26	7.0
点眼の時期	A (58)	B (29)	C (57)	D (96)	E (53)	計(293)	%
出生直後	31	17	38	82	45	213	72.7
出生30分以内	2	7	5	1	1	16	5.5
出生1時間後	9	2	1	6	5	23	7.8
その他	16	3	13	7	2	41	14.0

* 併用例も含む。 ** 点眼せず。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



健康新生児のスキンケアに関するアンケート調査のうち、臍のケアおよび眼処置ことに膿漏眼予防のための点眼法についての集計結果を報告する。